

推奨印刷データ

データ入稿時の注意点

●推奨入稿データ形式

AI形式	EPS形式	PDF(1:1)形式
		

※上記データでご入稿いただくと、イニシャル費が大幅に抑えられます。

アウトライン化

アウトライン化とはIllustratorなどの機能のひとつで、文字データを線画に変換する機能のことです。

文字の輪郭を線画に変換する役目を持っていて文字化けをあらかじめ防ぐ役割もあります。

手持ちのフォントが共通でない場合、代替えフォントとなってしまうためデータのアウトライン化をするようお願い致します。

未アウトライン

アウトライン済

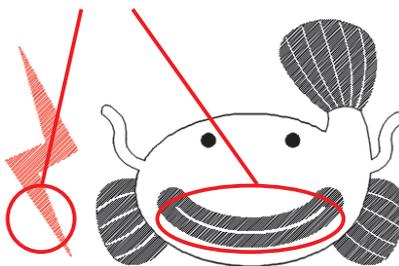
未アウトライン

アウトライン済

PDFファイルについて

- ◎スキャン等の画像をPDF化されたデータは、使用できません。
- ◎文字や図形などオブジェクトが埋め込みされて無いデータは使用できません。
- ◎AUTO CADからPDFに出力する時でAdobeアcroバットなどの変換ソフトをご使用の場合、基本アウトライン化の必要はありませんが画像が多少荒れる傾向にある為ご注意ください。
(注:アcroバットリーダーとは異なります。)
- ◎AUTO CADからPDFに出力する時で DWG TO PDF で出力される場合、基本アウトライン化の必要はありませんが一般的なPCでPDFを見たままの画質となります。

塗りつぶしのつもりだが白いスジが入っている。



PDFで見たままの画質となりますのでご注意ください。

Takachi → Takachi

埋め込みをされて無いと代替えフォントとなり文字化け状態になる可能性があります。

AACH

赤丸の部分のように輪郭がブレる傾向にありますアcroバット変換ソフトご使用の場合

ロゴやマークについて

データで画像等を貼り付けを行っている場合、貼り付けた画像の粗さがそのまま印刷されます。

ロゴの背景を透過したものを貼り付けして下さい。貼り付けした画像によって作成費が掛かる可能性がございますので、事前にご確認下さい。



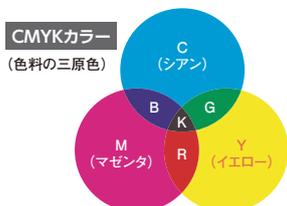
荒い画像データ



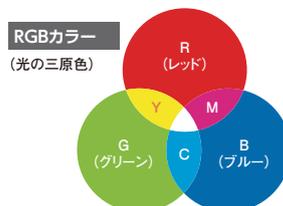
実際の印刷した物

CMYKモード

当社インクジェット印刷機はCMYK+Wで表現しております。RGBモードで作成された場合色が暗くなりイメージと違う色になってしまいますのでご注意ください。(金・銀等メタリック色は印刷できません。グラデーションなどデザインで再現されている場合は異なります。)



当社の印刷機の色となります



RGBの蛍光色は表現されません

型番目次/
Photo
INDEX

プラスチック
ケース

キャリング
ケース

防水・防塵
樹脂ボックス

防水・防塵
アルミ/
ステンレス
ボックス

端子ボックス/
防水コネクタ/
ケーブル
グラッド

アルミ
フレーム/
ヒートシンク
ケース

アルミサッシ
ケース

メタル
ケース

フリーサイズ
ケース/
フリーサイズ
パネル

ラックケース/
サブラック

機板/
ラックパネル

電池ボックス/
ホルダー

アクセサリ/
シールド/
熱対策部品

機構材

カスタム製品

技術資料/
各種ご案内